

株式会社GREENCOLLAR 第4期決算公告

貸借対照表

令和 5年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	95,459	流動負債	9,065
現金及び預金	12,133	未払金	8,197
売掛金	388	未払法人税等	449
貯蔵品	1,353	未払事業所税	17
前渡金	990	前受金	287
前払費用	794	預り金	115
未収還付消費税等	14,323		
短期貸付金	65,476		
未収入金	0		
固定資産	795,117	固定負債	1,079,295
(有形固定資産)	214,419	長期借入金	1,057,000
建物	14,972	資産除去債務	16,717
建物附属設備	2,966	繰延税金負債	5,577
構築物	135,172		
機械及び装置	9,724		
車両運搬具	2,981		
工具器具備品	7,110		
育成仮勘定	61,514		
減価償却累計額	△ 20,023		
(無形固定資産)	23,609		
商標権	6,753		
ソフトウェア	8,580		
ソフトウェア仮勘定	7,996		
水道施設利用権	279		
(投資その他の資産)	557,088		
関係会社株式	552,803		
出資金	15		
長期前払費用	1,154		
長期預け金	3,114		
繰延資産	623		
創立費	623		
		負債合計	1,088,361
		純資産の部	
		株主資本	△ 197,160
		資本金	22,500
		資本剰余金	22,500
		資本準備金	22,500
		利益剰余金	△ 242,160
		その他利益剰余金	△ 242,160
		繰越利益剰余金	△ 242,160
		純資産合計	△ 197,160
資産合計	891,200	負債及び純資産合計	891,200

当期純利益：△92,699千円

個別注記表

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法
関係会社株式…………… 移動平均法による原価法によっております。
2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品……………最終仕入原価法
3. 固定資産の減価償却方法
有形固定資産…………… 定額法によっております。
無形固定資産…………… 定額法によっております。
4. 収益及び費用の計上基準
「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 令和3年3月26日)を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。
5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(収益認識に関する注記)

顧客との契約について、以下の5ステップアプローチに基づき、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価の額で収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する

ステップ2：契約における履行義務を識別する

ステップ3：取引価格を算定する

ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する

ステップ5：履行義務を充足したときに又は充足するにつれて収益を認識する

収益を認識するにあたっては、当社が主な事業としているぶどうの生産、加工及び販売事業における製品及び商品の販売について、顧客との契約に基づき履行義務を識別しており、通常は下記の時点で当社の履行義務を充足すると判断し収益を認識しております。

1. 製品及び商品の販売に係る収益

製品及び商品の販売については、引渡時点に顧客が当該製品及び商品に対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断し、当該時点において収益を認識しています。

なお、出荷時から製品及び商品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時点において収益を認識しております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の種類及び総数に関する事項
普通株式…………… 4,500株

(1株当たり情報に関する注記)

- ・ 1株当たり純資産額 $\Delta 43,813$ 千円
- ・ 1株当たり当期純損失 $\Delta 20,599$ 千円

(その他の注記)

1. 以上の記載は表示単位未満を切り捨てて表示しております。